



平成 29 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社丸八ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 瀧口 陽夫  
(コード：3504、名証第二部)  
問合せ先 取締役管理本部長 日野原 和夫  
(TEL. 045-471-0808)

### 通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 10 月 21 日公表の平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 通期連結業績予想値と実績値との差異について

平成 29 年 3 月期 連結業績(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親 会 社 株 主 に 帰 属 する 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,308	1,602	1,269	978	63.31
実 績 値 ( B )	20,138	1,576	2,039	1,161	75.10
増 減 額 ( B - A )	△170	△25	770	182	—
増 減 率 ( % )	△0.8	△1.6	60.7	18.6	—
(参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	22,147	2,115	1,882	1,397	97.60

#### 2. 差異が生じた理由

主力のダイレクトセールスにおいて、販売員に占める新人構成比が想定を上回り、一人当たりの平均売上高が減少したことにより、売上高及び営業利益は、前回予想を若干下回る結果となりました。

営業外損益では、豪ドル建て金融資産の評価替え等を通じて第 2 四半期までに計上した為替差損が、円安の影響で通期では為替差益に転じたことにより、経常利益は、前回予想を上回る結果となりました。

特別損益では、G L BOWRON & CO LIMITED における事業整理損を計上 (注) しましたが、上記の経常利益の上振れが大きく、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想を上回る結果となりました。

(注) 平成 28 年 8 月 25 日付「子会社株式の譲渡に関するお知らせ (開示事項の経過)」の「7. 今後の見通し等」に記載しております株式譲渡日、連結対象から除外される時期、特別損失の金額 (子会社株式売却損) 並びに業績に与える影響につきましては、依然として未確定であります。事業整理損を計上した影響で、将来発生する特別損失の金額は減少する見通しであります。

以 上